

高松市歴史資料館 年報 平成22年度 No.13

目 次

1	茂 不
1	常設展02
2	企画展04
3	テーマ展07
4	ロビー展07
	##
Π	教育普及
1	サンクリスタル学習08
2	講座09
3	博物館実習10
4	広報活動10
Ш	資料整備
1	収集11
2	貸出•特別利用12
3	高松市収蔵品情報システム13
4	ボランティア活動
7	バフン / 1 / /山封13
IV	管理運営
1	設置目的14
2	建設基本構想14
3	沿革14
4	施設概要15
5	組織と業務15
6	関係法規17
7	統計資料21
8	利用案内23

I展示

1 常設展

常設展示では、基本テーマを「瀬戸内海に育まれた高松の人々と暮らし」とし、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。高松のすばらしさを知り、理解を深めてもらうのが目的である。

展示手法としては、各時代における特徴的な事象をテーマにすえ、実物資料・レプリカ・模型の展示だけでなく、映像資料・グラフィック等も駆使して、観覧者の知的要求に応じられるように特色ある展示構成を図っている。

また、別室のプレイミュージアム (学習室)では、パソコンなどを使って、高松の歴史や文化の情報を楽しみながら学べるよう工夫している。

なお、展示資料は、新収蔵資料による展示替えや資料の保存を考慮して随時入れ替えを行っている。

常設展示室

中以及小王				
	テーマ	サブテーマ		
プロローグ	海を渡る			
	高松平野の成立	・ 高松最初の人類		
原始	稲作の発展と高松	・稲作前史・稲作のムラ		
原始・古代	石清尾山古墳群	・古代の国際交流 ・高松の古墳文化		
	仏教文化と高松	・高松平野の奈良時代・花開く仏教文化		
中	源平合戦と屋島	• 屋島合戦		
世	武士の活躍と高松	・荘園と農民 ・讃岐国守護細川氏 ・戦国武将		
近	城下町高松の発展	・高松城築城・香東川と栗林荘・高松城主松平家・高松の上水道・城下の賑わい		
世	讃岐三白と交通	・讃岐三白 ・港町高松 ・街道と海運		
	町人文化と高松	・高松の教育 ・町人文化と暮らし		

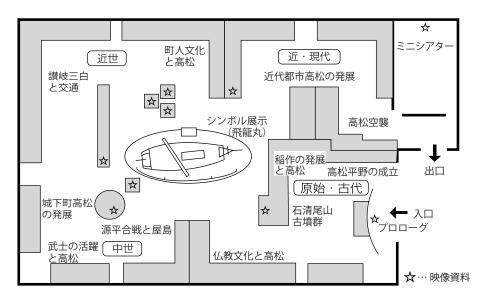
	テーマ	サブテーマ
	<i>)</i>	777 4
近・現代	近代都市高松の発展	・文明開化の時代 ・高松市の誕生 ・連絡船の時代 ・市民の生活
10	高松空襲	・戦時体制 ・高松の戦災
ミシアター	高松訪ね歩記	

映像資料

八分头们	
映像種類等	映像資料名
プロローグ	海を渡る
総覧映像	高松歴史ニュース
詳細映像	[原始・古代] 高松平野の姿 旧石器時代の生活 縄文時代の生活 稲作のムラ 石清尾山古墳群 積石塚古墳と盛土古墳 条里のムラを歩く [中世] 兵庫北関入船納帳にみる交易 戦国の世の高松 - 悲劇の城 喜岡城

プレイミュージアム(学習室) 映像種類等 映像資料名 コーナー 映像資料名 詳細映像 [近世] 再現された飛龍丸 ビデオ ・水の武術「水任流泳法」 城下町の賑わい 高松市の伝統工芸 ~玉楮象谷と美しき漆芸の世界~ 木村黙老と「聞ままの記」 ・高松市の文化財 I 高松城下町の変遷 へんろ道を歩く ・塩田風景 ・城下の井戸 ・丸亀町筋と常磐橋 ・高松藩の藩船 ・平家伝説を訪ねて ・石清尾八幡神社 ・本丸と天守閣 ~悲劇の落人たち~ • 寺町筋 ・忘れかけた手作り遊び ・東浜舟入と内町五町 ~親子のふれあい~ [近代・現代] ・高松の祭礼 文明開化の先駆者「川崎舎竹郎」 ・失われゆくふるさとの手仕事 大正デモクラシーと伏石事件 ~日傘と紙すき~ 高松砂漠 ・高松市の文化財 II ~仏像彫刻の世界~ ・古代との対話 ミニシアター ・塩江美術館を行く ・女木島を行く ~高松平野の遺跡発掘~ 「高松訪ね歩記」 ・庵治石を訪ねて ・失われつつある手仕事「炭焼き」 ・中央球場を訪ねて ・盆栽を訪ねて ・讃岐が誇る文人画家「長町竹石」 ・ガソリンカーを訪ねて ・庵治・純愛の聖地を訪ねて ・古代の瓦~瓦が解き明かす歴史~ ・石清尾山古墳群を訪ねて ・ため池と伝説を訪ねて~三郎池・平池編~ ・古代の城〜屋島に刻まれた歴史〜 ・柴野栗山を訪ねて ・御厩焼を訪ねて ・遍路道を訪ねて Q&A たかまつのれきしクイズ ・屋島を訪ねて ・香川漆器を訪ねて ・男木島を訪ねて ・町並みを訪ねて~仏生山・香西編~ データベース検索 高松市ウェブミュージアム ・高松港周辺を訪ねて ・香東川を訪ねて ・披雲閣を訪ねて ・菊池寛を訪ねて 高松市の指定文化財 ・五色台を訪ねて 高松市内の伝説 ・西浜を訪ねて ・保多織を訪ねて ・丸亀町を訪ねて パズル ファンタビュー 源平屋島合戦

常設展示室



プレイミュージアム (学習室)



2 企画展

当館の核となる事業の一つとして、年度ごとに企画展を 3 回企画している。平成 22 年度は「郷土・高松に伝えられた至宝」、「ものがたりをよむ方法」、「左近さんが居た幕末」といったバラエティに富んだ内容で展示紹介した。毎回開催に当たり、下記から後援をいただいた。

朝日新聞高松総局・RSK 山陽放送・RNC 西日本放送・NHK 高松放送局・OHK 岡山放送・KSB 瀬戸内海放送・ 産経新聞社高松支局・山陽新聞社・四国新聞社・TSC テレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局 ※なお、第 54 回企画展では、瀬戸内国際芸術祭実行委員会の後援と財団法人日本美術刀剣保存協会香川支

部の協力をいただいている。

第54回企画展 瀬戸内国際芸術祭連携事業 郷土・高松に伝えられた至宝 ~高松市内の指定文化財展~

会期平成22年8月7日~9月5日(26日間)観覧者数1,927人(うち有料観覧者数460人)

平成22年高松市は、市制施行120周年の記念の年を迎え、夏から秋にかけては瀬戸内海を舞台に、「瀬戸内国際芸術祭」も開催された。国内外からの関心が本市に集まるとともに、市制の節目ともなったこの年、高松市歴史資料館では瀬戸内国際芸術祭連携事業として本展を開催。

高松に伝わる秀逸の国・県・市指定の文化財のうち、有形文化財および 民俗文化財24点を一堂に展示し、本市の歴史や文化遺産、それらを育ん だ地域への興味関心や理解を深めた。

主な展示資料

- 伝鶴州筆『絹本著色観世音功徳図』 法然寺蔵
- ・『木造菩薩立像』 正花寺蔵
- •『板彫阿弥陀曼荼羅』 開法寺蔵
- ・『法華経』 高松松平家歴史資料・香川県立ミュージアム保管
- ・『刀 無銘 伝江義弘』 当館蔵
- ・『衆鱗図』 高松松平家歴史資料・香川県立ミュージアム保管
- ・『高松藩飛龍丸船明細切絵図』 高松松平家歴史資料・香川県立ミュージアム保管
- ・『生駒親正肖像画』 弘憲寺蔵
- ・『本小札肩白紺糸威具足 二方白四十八間筋兜』 田村神社蔵

関連イベント

- 講演会(サンクリスタル高松3階視聴覚ホール/無料)
 - ・「郷土・高松に伝来した刀たち」 8月8日(日)午後1時30分~/講師:藤澤逸郎((財)日本美術刀剣保存協会香川県支部) /参加者29人
 - ・「高松市の仏像」 8月28日(土)午後1時30分~/講師:武田和昭(仏教美術研究家)/参加者45人 ・「香翠座デコ芝居についてのお話と上演」
 - 9月5日(土)午後1時30分~/講師:田井三智夫(香翠座デコ芝居保存会)/参加者45人
- ミュージアムトーク(企画展示室/会期中の日曜日・祝日/午前11時~) 計5回/参加者延べ43人



▲ ポスター



印刷物

- ・ ポスター(B2)
- チラシ(A4)
- 図録(A4·42頁)

▲ 図録



▲ 展示風景

第55回企画展 ものがたりをよむ方法 伊勢・源氏・平家物語を楽しもう。

슺 期 観覧者数 平成22年9月18日~10月31日(38日間) 1,451人(うち有料観覧者数216人)

世界は「ものがたり」にあふれている。民族の起源を語る神話や、語り継が れた伝説。外国からもたらされた故事や仏教の教理を伝える説話の数々。王 朝の貴族文化の中で生み出された作り物語や歌物語から、戦乱の世を伝え る軍記物語、庶民や動物などを主人公とする昔話―。

本展は、後世の文学に大きな影響を与え、今日まで読み伝えられてきた 「古典」とよばれる物語のうち、「物語の出で来はじめの親」とよばれた『竹取 物語』や、最古の歌物語である『伊勢物語』、平安王朝文学の最高峰と言われ る『源氏物語』、高松にも縁の深い軍記『平家物語』、昔話の原点ともいうべき 『御伽草子』を取り上げ、その写本や版本などのテキストをはじめ、絵巻や屏 風・画帖などの美術品、工芸品を展示し、古典文学の世界を重層的に紹介し た。



▲ ポスター

もがたりは

▲ 図録

印刷物

- ・ ポスター(B2)
- チラシ(A4)
- ・ 図録(A4横・36頁)

主な//展示資料

- ・『奈良絵本 竹取物語』 龍谷大学大宮図書館蔵
- · 『伊勢物語絵巻』 斎宮歴史博物館蔵
- •『源氏物語図屛風』 法然寺蔵
- •『源平合戦図屛風』 当館蔵
- ·『御伽文庫』 京都府立総合資料館蔵

関連イベント

- 講演会(サンクリスタル高松3階視聴覚ホール/無料)
 - ・「歴史と物語の不思議な関係ー伊勢物語が語る「歴史」ー」 10月3日(日)午後1時30分~/講師:榎村寬之(三重県立斎宮歴史博物館学芸普及課長) /参加者42人
- ワークショップ(3階第1集会室/無料)
 - ・「和歌で告ろう! 和歌を詠んで気持ちを伝えあおう-」 10月10日(日)午後1時30分~/講師:ANNRI(FM高松ディレクター・パーソナリティ) /参加者10人
- ミュージアムトーク(企画展示室/会期中の日曜日・祝日/午前11時~) 計9回/参加者延べ57人





▲ 展示風暑



▲ 歴史と物語の不思議な関係ー伊勢物語が語る「歴史」ー

第56回企画展 左近さんが居た幕末 一松平賴該とその周辺一

会 期 観覧者数 平成23年2月2日~3月21日(42日間) 1,374人(うち有料観覧者数288人)

およそ300年続いた徳川幕府が崩壊し、新しい時代へと移り変わろうとする動乱の中で、高松藩が迎えた幕末は厳しいものだった。高松藩は、水戸徳川家の流れをくむ親藩で、溜詰の大名として幕府の重要な役割を担っていた。また、尊王の教えを説く水戸藩主・徳川斉昭、幕府の力を保持したい大老・井伊直弼の両者と縁戚関係にあったことから、勤王と佐幕の間で苦しい立場に置かれる。そして、幕末・維新の時、高松藩は慶応4年(1868)1月のいわゆる鳥羽伏見の戦いに幕府方として加わったことで朝敵とされ、土佐藩をはじめとする倒幕の志士たちにより開城をせまられた。戦火に飲まれようとしていた高松を救うため事態の収拾にあたったのは、高松藩10代藩主・松平賴胤の兄である松平賴該を中心とする人々だった。賴該は幼いころから学問に秀で、書画にも優れていたほか、能や狂言、芝居を好んだという。後年、宮脇村の亀阜荘(現在の高松市立亀阜小学校がある辺り)に暮らし、近隣の人々から、通称である「左近さん」と呼ばれ親しまれていた賴該は、江戸時代の終わりとともにその生涯を終えた。

本展では、松平頼該の生涯や周辺の人々について書画や書籍などで紹介するとともに、高松に訪れた幕末がどのようなものであったのかを垣間見た。

主な展示資料

- ・『自画像』 松平賴該筆 個人蔵
- ・『三番叟之図』 松平賴該筆 当館蔵
- ・『松下鶴図』 松平賴該筆 当館蔵
- ・『花鳥図』 森良敬筆 個人蔵
- ・『五行書』 長谷川宗右衛門筆 当館蔵
- •『菅公賛詞』 藤澤南岳筆 当館蔵
- ・『香翠座デコ頭「光秀」、「初菊」』 香翠座デコ芝居保存会蔵
- ・『水産図解』 藤川三渓著 当館蔵

関連イベント

- 公演(サンクリスタル高松3階視聴覚ホール/無料)
 - ・「香翠座デコ芝居保存会による人形芝居」 3月13日(日)/午後1時30分~/上演:香翠座デコ芝居保存会/参加者72人
- ミュージアムトーク(企画展示室/会期中の日曜日・祝日/午前11時~) 計9回/参加者延べ89人





印刷物

- ・ ポスター(B2)
- チラシ(A4)
- 解説シート(A4・4頁)







▲ 展示風景



▲ 香翠座デコ芝居保存会による人形芝居

I展示

3 テーマ展(収蔵品展など)

収蔵品展

ここまでわかった高松城天守史料と発掘成果から往時の姿を探る

■会 期

平成22年4月17日~5月30日(38日間)

■観覧者数

937人(うち有料観覧者数274人)



これまで高松城天守の復元根拠は古写真1枚しかなく、空想の域を出なかったが、平成17年度から実施してきた史料調査および天守台石垣解体処理に伴う発掘調査により数多くの資料を得ることができた。今回の展示では、発掘調査の出土品、古写真、絵図、文献等の復元根拠を展示するとともに、推定復元図をはじめて一般公開した。

関連イベント

■ 講演会(サンクリスタル高松3階視聴覚ホール/無料)

「ここまでわかった高松城天守」

4月18日(日)午後1時30分~/講師:大嶋和則(高松市文化財課文化財専門員) /参加者76人

■ 講座(サンクリスタル高松3階視聴覚ホール/無料)

「高松城を1日で語る」

- 5月9日(日)午後1時30分~/講師:大嶋和則·小川賢(高松市文化財課文化財専門員)/参加者71人
- ギャラリートーク(企画展示室/会期中の日曜日・祝日(但し4/18(日)、5/9(月)は除く)/ 午後1時30分~)/計5回/参加者延べ24人

収蔵品展

あそびのこころ 一昔おもちゃの魅力を知る一

■ 会 期

平成22年11月13日~12月26日(38日間)

■観覧者数

1,495人(うち有料観覧者数124人)



▶ ポスター

当館が収蔵する古きよきおもちゃの中から、張子や土鈴をはじめ 双六・独楽・凧などを、多数展示・紹介した。

関連イベント

- ■ワークショップ①「雅な遊び・投扇興を体験しよう!」(サンクリスタル高松3階第2集会室) 12月4日(土)13時30分~15時30分/講師:柳生かな子(おもちゃコンサルタント) /参加者15人
- ■ワークショップ②「ボードゲームであそぼう!」(サンクリスタル高松3階第1集会室) 12月18日(土)13時30分~15時30分/講師:末原俊幸(世界のボードゲームを広める会 ゆうもあ)/参加者16人
- ■プレイコーナー(企画展示室/会期中の日曜日/午前10持~12時) 計7回/参加者延べ90人

4 ロビー展

() 旅ゆけば・・・

4/1~6/13

江戸時代から明治時代にかけての旅にまつわる錦絵や地図、旅に持って行った道具を紹介。(企画:中條亜希子)





02 あやかし?まやかし?

8/3 ~ 9/12

妖怪・幽霊・奇異など理解しがたい不思議なものを描いた錦絵を展示。 (企画:岩嶋孝典・松本有貴)





03 紙に描かれたおもちゃたち

9/14 ~ 11/7

台紙付き色紙に郷土玩具を描き、各地の郷土玩具を紹介した「おもちゃ画譜」を実物の郷土玩具とともに展示。(企画:中山尚子)





4 ごちそうの旅 ~ 名物・名産の歴史~

11/9 ~ 12/19

名物・名産を紹介する資料の中から、食べ物に関する書籍や錦絵などを展示。 (企画:岩嶋孝典・谷真琴)





5 新春の彩り

12/21 ~ 1/23

新しい年のはじまりを華やかに飾る干支や、縁起物をかたどった郷土玩具をはじめ、 正月の風物を描いた錦絵などを紹介。(企画:河西由美子)





06 顔!

1/25 ~ 2/27

笑顔、泣き顔、へん顔、怒った顔…。絵画や郷土玩具などの資料から「いい顔」をしたものを紹介。(企画:谷真琴・中條亜希子)





7 舞う髪

 $3/1 \sim 4/10$

江戸時代から近代にかけて様々に結われてきた日本女性の髪型を、錦絵や郷土玩具などの資料とともに紹介。(企画:松本有貴)





■教育普及

「開かれた資料館」をめざし、当館では教育普及に積極的に取り組み、資料を通して市民との対話につとめている。そのひとつに、郷土の歴史をより楽しみながらよく知るために、学校教育との連携を図り、市内の小学生を対象に行うサンクリスタル学習を実施している。また、生涯学習の場として、「夏休みこども歴史講座」をはじめ様々な講座などを開催するとともに、博物館実習による学生の受け入れをし、学芸員の養成に寄与している。

1 サンクリスタル学習

当館 (4F) は、サンクリスタル高松という愛称で呼ばれている建物の中に、図書館 (1・2F) と菊池寛記念館 (3F) と共にある複合館である。この複合館という利点を生かし、より充実した学習内容と効果をめざすため、市内の小学生を対象とした「サンクリスタル学習」を平成5年度から当館が事務局となり実施している。

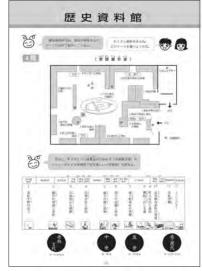
展示資料を活用し、分かりやすく歴史を伝え、親しんでもらうために、また、小学生にも興味を持って 資料に接することができるように、学習の際の補助的な教材として「サンクリスタル学習のしおり」を作 成している。また、展示解説の際には、校区にある遺跡や古墳などの話を織り交ぜ、興味深い歴史学習が できるように努めている。

サンクリスタル学習を実施するにあたり、各小学校の担当教諭を集めて説明会を開くとともに、実際の学習実施前には、参加学年担当教諭を交え、綿密な事前打合せを行っている。なお、必要に応じて各小学校との交通手段には大型バス等の用意もしている。

サンクリスタル学習参加校

6月	川添小学校 木太小学校	75名 89名
7月	門座小学校 仏生山小学校 木太南学校 鬼無小学校 古高松南小学校 大野小学校 太田南小学校	125名 100名 129名 61名 86名 85名 203名
9月	浅野小学校 牟礼小学校 屋島東小学校 香西小学校 植田小学校 下笠居小学校 林小学校	75名 70名 35名 119名 21名 79名 71名
10月	古高松小学校	42 名
11月	弦打小学校 亀阜小学校 川島小学校 多肥小学校 中央小学校	102名 41名 134名 169名 133名
12月	香南小学校 木太北部小学校 十河小学校 花園小学校	78名 125名 122名 50名
1月	檀紙小学校 附属高松小学校	76名 42名
2月	屋島小学校 太田小学校 鶴尾小学校	112名 160名 35名
	31 校	2,844 名





2 講座

■ 主催事業

夏休みこども歴史講座

郷土高松の歴史をもっと知りたい・学びたいと思う小学生(対象: 3~6年生)のために、毎年テーマを絞り、実地見学や調べのまとめ、発表までをサポートする講座を開催した。

文化財展をみて文化財について調べよう!

現在まで大切に守り伝えられてきた文化財をよく知るための展示会「郷土・高松に伝えられた至宝~高松市内の指定文化財」を見ながら高松市に残る文化財について調べ、自由研究を作り上げました。また調べた文化財をお客さんに紹介する「ギャラリートーク」にも挑戦。

期間:8月3日・5日・10日・11日・22日 企画担当:谷・中條・中山 参加者:延べ45人



古文書講座

実際の古文書を題材に取り上げ、参加者と一緒に読むなど、古文書に親しむ講座を開催した。

講師:三谷敏雄(元高等学校教諭)

古文書にくらしをさぐる vol.1

8月19日 • 9月16日 • 10月21日 • 11月18日 • 1月20日

2月17日・3月17日 参加者:7回延べ396人



歴史クイズにチャレンジしよう!

春休み・夏休み・冬休みの間、中学生以下を対象に、常設展示に ちなんだ歴史クイズで歴史や資料館に親しんでもらった。

企画担当:谷・中條・中山 参加者:延べ779人

■ サポート事業

サポーター養成講座および活動

サポーターによる展示解説のための事前研修を実施し,必要な能力をつちかった。

講座名		期日
玉藻公園見学・実習 高松市美術館常設展示見学・実習 香川大学日野准教授による講習会		4月24日 6月5日 7月4日
活動名	期日	内容
■ 収蔵品展 「ここまでわかった高松城天守―史料と発 ミュージアムトーク	経掘成果から往時の姿を探るー」 4月25日・5月2・16日・ 23・30日(午後1時30分~)	展覧会場にて展示解説
■ 第 54 回企画展 「郷土・高松に伝えられた至宝〜高 ミュージアムトーク	松市内の指定文化財〜」 8月8・15・22・29日・ 9月5日(午前11時〜)	展覧会場にて展示解説
■ 第 55 回企画展 「ものがたりをよむ方法 伊勢・源 ミュージアムトーク	氏・平家物語を読もう」 9月 19・20・23・26 日・ 10月 3・10・17・24 日・ 10月 31日 (午前11時~)	展覧会場にて展示解説
■ 収蔵品展 「あそびのこころ — 昔おもちゃの魅力を知 プレイコーナー	る―」 11月14・21・28日・ 12月5・12・19・26日(午前10	むかしのおもちゃやあそびを体験するコーナーを設置時~)

■ 第56回企画展 「左近さんが居た幕末-松平賴該とその周辺-」

ミュージアムトーク 2月6・11・13・20・27日・ 展覧会場にて展示解説

3月6・13・20・21日(午前11時~)

■ 共催事業

講座名	期日	講師参	加者人数
■ 讃岐村塾			
琉球文化と鎌倉芳太郎	5月29日	佃昌道(高松大学学長)	20
四国遍路・世界遺産への道	6月27日	片桐孝浩 (香川県政策部文化振興課課長補佐)	18
柴野栗山について	7月10日	小川太一郎 (柴野栗山顕彰会理事長)	18
山折哲雄 いま、菊池寛を考える	8月21日	山折哲雄(宗教哲学者)	200
蒙古開拓団	9月25日	越智繁彬 (香川学会事務局長)	25
古代山城日韓シンポジウム (文化財課円座整理事務所と共催)	10月16日		250
唱歌「明治節」と堀澤周安	11月27日	田山泰三(英明高等学校教諭)	30
村山籌子について〜村山知義との共作童話を中心に	12月25日	牧野裕二(高松市美術館学芸員)	25
京都宇治・伏見を巡る旅	1月22日		38
観光地・屋島の今とこれから	2月27日	小西勇 (屋島観光ボランティア)	20
日本語の危機	3月26日	津森明(高松大学教授)	40

3 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、 博物館実習を行った。

8月6日~8日・10日~12日(6日間) 計4人

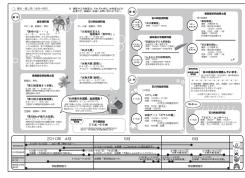
4 広報活動

館の情報を広く周知し利用促進を図るため、リーフレット・ポスター・チラシ等を高松市内外の関係施設や 観光案内所・ホテル等へ配布したほか、インターネットで各種展示・講座の案内、資料紹介、高松の歴史や 文化に関する様々な情報提供を積極的に行った。

また、当館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の4館の展示やイベント予定を掲載した『ほっと museum 通信』を年4回、4館の取り組みや市民との活動を伝える『高松市資料館だより maimaiko(まいまいこ)』を年1回発行した。

■ ほっと museum 通信





2010 年春号

■ maimaiko(まいまいこ)





第4号(2011年3月発行)

Ⅲ資料整備

資料整備は、資料館の最も基本的な機能で、かつ重要な役割を占めるものである。

資料の収集・整理・保存を行うことにより、資料館にとって最大の財産である収蔵資料に厚みを増し、これによって常設展示の展示替え、また調査研究を通して企画展示等の方法で市民に還元されるとともに、さらに 貴重な文化財産を次世代に伝えていく使命を持つ。収集方法としては、購入・寄贈・移管・寄託などがある。

1 収集

■ 購入

28件

分類番号	資料名	作者・著者名	時代・制作年	員数	全体法量	(cm)	品質
美術工芸 絵	画						
O.0416-01	景年花鳥画譜 春ノ部	西村総左衛門(発)今尾景年(書)	明治 25 年 (1892)		縦 36.8	横 25.7	
O.0416-02	景年花鳥画譜 夏ノ部	西村総左衛門(発)今尾景年(書)	明治 25 年 (1892)		縦 36.9	横 25.7	
O.0416-03	景年花鳥画譜 秋ノ部	西村総左衛門(発)今尾景年(書)	明治 25 年 (1892)		縦 36.8	横 25.7	
0.0426-04	景年花鳥画譜 冬ノ部	西村総左衛門(発)今尾景年(書)	明治 25 年 (1892)		縦 36.9	横 25.7	
O.0417	山水幅	長町竹石	江戸時代	一幅	縦 191.0	横 53.5	絹本着色
O.0418	山水図屏風	細川林谷	江戸時代	一双	縦 173.7	横 188.0	
0.0419	浅絳山水	長町竹石(画)天民先生(賛)	江戸時代 (19世紀)	一幅	縦 185.0	横 65.0	絹本着色
O.0420	韓信逢老母	鈴木芙蓉(画)柴野栗山(賛)	江戸時代 (18世紀後半~19世紀前半)	一幅	縦 174.0	横 34.0	紙本着色
O.0421	山水之図	長町竹石	江戸時代 (19 世紀)	一幅	縦 109.5	横 63.0	絹本着色
0.0422	山水図	鈴木芙蓉(画)柴野栗山(賛)	江戸時代 (19 世紀)	一幅	縦 181.0	横 51.2	絹本着色
O.0423	菊に鶉図	森良敬	江戸時代後期 (19世紀)	一幅	縦 164.0	横 53.5	絹本着色
O.0424	[林谷山水図]	細川林谷	安政 2 年 (1855)	四枚	縦 30.2	横 21.4 ほか	紙本墨画
O.0425	秋景山水図	長町竹石	文化元年 (1804)	一幅	縦 222.0	横 71.0	紙本着色
0.0426	荷郷夏景図	長町竹石	江戸時代 (18世紀後半~19世紀初頭)	一幅	縦 206.0	横 62.5	紙本着色
O.0427	猿図	森二鳳 (画)・藤澤東畡(賛)	江戸時代 (19 世紀半ば~ 19 世紀末)	一幅	縦 176.0	横 44.0	絹本着色
O.0428	戎図	大岡春卜(画)・藤澤東畡(賛)	江戸時代中期 (18 世紀)	一幅	縦 179.0	横 37.8	紙本着色
O.0429	巻子	細川林谷ほか	天保 3 年 (1832)	一舗	縦 21.2	横 489.9	
美術工芸 書記	跡						
T.0525	七言絶句	中山城山	江戸時代 (18世紀末~19世紀前半)	一幅	縦 100.0	横 34.3	
美術工芸 短	₩						
U.0278	短冊「八島…」	松平賴壽	不明	一枚	縦 36.2	横 6.0	
歴史 絵図・	地図						
A.0727	港湾拡張計画書	不明	大正8年(1919)	一葉	縦 70.5	横 104.5	青焼
歴史 書籍・							
C.2137	「雲表」初版本	小島烏水	明治 40 年 (1907)	一冊	縦 12.7	横 9.5 厚さ 2.7	
C.2138-01	古能はな 甲	宮武外骨	不明	− ∰	縦 26.8	横 19.3 厚さ 1.8	
C.2138-01-1	此花 第一枝付録 裸体書苑	: 不明	明治 43 年 (1910)	二枚	縦 40.1	横 28.3	
C.2138-02	古能はな 乙	宮武外骨	不明	− ∰	縦 26.8	横 19.2 厚さ 1.6	
C.2138-03	古能はなの	宮武外骨	不明	− ∰	縦 26.9	横 19.4 厚さ 1.6	
C.2138-04	古能はな 丁	宮武外骨	不明	− ∰	縦 26.7	横 19.4 厚さ 1.6	
歴史 古文書	古記録・その他						
W.6898	港湾拡張計画書	不明	大正8年(1919)	二冊	縦 27.5	横 20.0 厚さ 0.4	
X.0107	印刷銅版「滑稽新聞」	不明	明治時代	三枚	縦 22.1	横 16.7	

■ 寄贈・移管 ※掲載の順序は、採納手続き順による

17件

婚礼たんす・髪刺	2点	樋口直江氏
戦災前の高松市住宅地図	9点	谷本亘氏
「たからばち」(竹笠)	1点	立岩伊佐子氏
龍笛・篳篥ほか	3 点	横田稔氏
高松松平家由緒書	1点	雨宮浩氏
折提灯ほか	1 式	三好正信氏
浦生洛中地理絵図 6 冊揃	6点	大熊幸子氏
コイン	90 点	佐藤亘氏
古文書(豊臣鎮西御軍記 中の巻ほか)	47 点	横倉ユキエ氏
民具	6点	穴吹静雄氏
戦前の朝鮮・満州古写真	2 点	多田和美氏
特別据置貯金證書ほか	10 点	立岩伊佐子氏
潮井家資料	1482 点	潮井和代氏
養蚕民具	26 点	森田芳江氏
孔雀図	1点	矢野茂雄氏
男木嶋地引絵図面	8点	男木小学校
高松絵図ほか	3点	高松市(移管)

2 貸出・特別利用

■ 貸出

11件

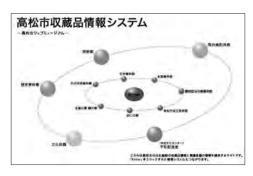
分類番号	資料名	出品展覧会	会場	会期
万) 知 金 亏 P.0117	八嶋大合戦	岡山・香川文化交流展	岡山県立博物館	平成22年8月5日~9月5日
P.0117 P.0247	八鳴人古戦 源平矢嶋大合戦之図	両山・台川又化文流展 「瀬戸内海源平合戦一兵たちの世界一」	川川 川 川川 川 川川 川	〒M, ZZ 中 O 月 J □ (~ y 月 J □
P.0247 P.0496	源平一ノ谷大合戦之図	- MOV 131-31131 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
Q.0002	那須与一図		++>, +° 5+/\	平式 22 左 5 日 22 日 - 6 日 12 日
Q.0021	弓流し図屏風 		サンポート高松	平成22年5月22日~6月13日
P.0115	大物之浦灘風之図	「ふるさとの海のものがたり	香川県立ミュージアム	平成22年7月13日~8月31日
P.0127	大物之浦海底之図	一見つけよう!瀬戸内海の魅力一」		
B.0090	高松名勝絵葉書	平成 22 年度	香川県立ミュージアム	平成22年7月13日~8月31日
B.0381	讃岐 高松名所絵葉書	県資料館協議会テーマ展「海」		
JC.0025	船金庫			
B.0155	[ポスター] 大阪商船株式会社	船の祭典 2010		
B.0160	[ポスター] 大阪商船株式会社	「船旅を彩るポスター展」	中讃・西讃・塩飽諸島	
B.0161	[ポスター] 大阪商船株式会社		金毘比羅宮	
B.0164	[ポスター] 大阪商船株式会社		业化加推力	
B.0165	[ポスター] 大阪商船株式会社			
		■ * 、 に		
B.0166	[ポスター] 大阪商船 大阪神戸への			
B.0170	[ポスター] 大阪商船株式会社 大阪	別付航路快速刀新造船紅乳駅航		
B.0172	[ポスター] 大阪商船 夏は海へ			
B.0173	[ポスター] 大阪商船 海上旅行の最	好李		
B.0174	[ポスター] 大阪商船 海へ			
B.0175	[ポスター]大阪商船 海へ			
B.0178	[ポスター]大阪商船 暖かき瀬戸内	海へ		
B.0182	[ポスター]大阪商船 みどり丸			
B.0196	[ポスター]大阪商船 夏は海へ 甲板	上の涼味!		
B.0596	[絵葉書] [高松港]			
JD.0006	鷲羽丸船名板	企画展「就航 100 年 宇高連絡船の歴史	岡山市デジタルミュージアム	平成22年8月27日~10月31日
B.0068	引札「金刀比羅蒸気出船所」	2010 年度特別展	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	平成 22 年 10 月 15 日
B.0083	引札「ちちのでる薬」	「瀬戸内の港町ゆかりの看板・引札展」		~11月23E
B.0087	引札「陸軍御用薬」			
B.0596	[絵葉書] [高松港]			
J.0065	石釧を複製	特別企画展	徳島市立考古資料館	平成22年10月9日~12月5日
J.0066	鍬形石 複製	「副葬品が語る古墳文化」		
M.0013	金製垂飾付耳飾 複製			
M.0015	内行花文清白鏡 複製			
M.0016	四獣鏡を複製			
M.0017	筒形銅器 複製			
M.0018	銅小剣 複製			
		五十 22 左左杜四日		
W.0113	三浦市右衛門 覚書	平成 22 年度特別展 「頼重と光圀	次视宗立座文店	十成23年2月25日193月21日
W.1196	高松藩士由緒記	- 高松と水戸を結ぶ兄弟の絆一」		
W.3577	松平右京大夫 頼重(花押)	= =		
W.6139	松平讃岐守 頼豊 (花押			
W.6188	松平右京大夫 頼重(花押)			
T.0002	松平頼重和歌短冊「誰可(が)楚免	(そめ)し・・・」		
T.0053	二行書「陶靖節」	泊園記念会創立五十周年特別記念展示	関西大学総合図書館	平成 22 年 10 月 18 日
T.0096	七言絶句	「藤澤東畡・南岳・黄鵠・黄坡と石濱純太郎の)学統」	~11月13日
OA.0018	 創作提灯「サンタクロース」		徳島市立考古資料館	平成 22 年 10 月 9 日~ 12 月 5 日
C.1119	五山堂詩話 九十	――――――――――――――――――――――――――――――――――――	菊池寛記念館	平成23年2月12日~3月19日
T.0236	三行書	かだ兄の心中 コレノノコノ 校	小心兄心心	17%23年2月12日 - 3月13日
1.0230	—I1 ⊟			

■ 特別利用

56件

3 高松市収蔵品情報システム

歴史資料館、美術館、市民文化センター、菊池寛記念館の収蔵品および文化財課所管の出土品等のデータを 一元管理し、公開可能なものについてインターネットにより広く公開する「高松市収蔵品情報システム」 (高松市ウェブミュージアム)を構築するとともに、積極的な運用を図っている。



http://www.takamatsu-webmuseum.jp/

4 ボランティア活動

■古文書解読ボランティア

本館で収蔵する古文書等の資料については、平成10年度末から本格的に整理分類に着手している。しかし、一連の作業の中核として古文書の解読にあたる職員等の絶対数が不足しており、作業の円滑な進捗が懸念されるため、本館主催の古文書講座の受講生を中心に史料の解読をお手伝いしていただき、コンスタントに成果をあげている。22年度は書状から古記録、古書、錦絵など幅広い種類の資料の解読をしていただきました。参加人数:9人

解読資料写真(一部)



殿様御鷹野一件留



大阪錦画日々新聞紙 第廿九号

1 設置目的

本市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識および 教養の向上と市民文化の発展に寄与するため。

2 建設基本構想

(1) 資料館の基本理念および性格

ア 基本理念

郷土の文化遺産を収集し、学術的な体系のもとに整理・ 保管・展示をして、市民の利用に供し、市民の生涯学習 と文化の継承発展に資する。

イ 性格

- (ア) 歴史・考古・民俗等の各分野の資料を収集、保管して、 伝承できる施設とする。
- (イ) 高松市の文化財の保護および利用の中心的役割を 果たし、文化向上に寄与しうる施設とする。
- (ウ)親しみやすく利用しやすい資料館として運営・活動 を行い、市民の郷土学習の場としての役割を担う施 設とする。
- (エ)学校教育と密接な関係を持ち、児童生徒が体験学習を行える施設とする。
- (オ) 高松市の歴史と文化に関する情報をコンピュータに 集積するとともに、他機関とのネットワーク化を図 り、これらの情報を提供する施設とする。

(2) 資料館の機能

資料館は、展示、教育普及を中心とし、次の目的をもった機能を有するものとする。

ア展示機能

高松市を特徴づけるテーマを選定し、収集資料を中心 に展示する。

イ 教育普及機能

高松市の歴史と文化に関して学校教育との連携を図る とともに、生涯教育の場の提供と普及活動を行う。

ウ 収集機能

高松市に関係する歴史・考古・民俗等各資料を収集 する。

工 整理保管機能

重要な歴史・考古・民俗等の資料を中心に整理し、保 管する。

才 調査研究機能

収集資料および高松市の歴史と文化に関する調査・研究を行う。

(3) 資料館の規模・内容

ア 建設計画の基本的な考え方

市民が気軽に出入りでき、くつろいだ雰囲気の中で郷土の歴史と文化に親しめるとともに、障害者、高齢者にも配慮した施設とする。

また、観覧者と職員の動線が交わらないように収蔵品、 展示品の搬入、搬出に配慮し、維持管理および保守点検 が容易な施設とする。

収蔵品、展示品については、その安全性を確保するため、 防犯・防火に備えるとともに、空気調整等により虫、菌、 カビ、塵埃および湿度対策を行う。

さらに、ニューメディア、コンピュータの急速な進展 等、将来の変化に対応できるよう融通性を持った施設 とする。

イ 建設規模

個性的な資料館にするとともに、展示、教育普及を中心に、

収集、整理保管、調査研究等の諸機能が有機的に連携し、 円滑に作動するよう延床面積は、おおむね次のとおりとする。 【建物延床面積 2.000 ㎡程度】

※大量に出土が見込まれる一般的な考古資料、民俗資料等の整理 保管の施設については、別途確保とする。

(4) 資料収集の基本方針

資料の収集については、次のとおり計画し、実施する。

- ア 高松市教育委員会が発掘調査した出土遺物のうち、重要な遺物については資料館に保管する。
- イ 国、県および市指定の文化財所有者の協力を得て、資料 収集をする。
- ウ 学識経験者、郷土史愛好グループ、一般市民等の情報提供により、文化財の所在データを作成し、必要により所有者の協力を得て収集する。
- エ 移動できないもの、消滅したものおよび無形のものについては、写真、図面、ビデオ等によって資料収集をする。
- オ 収集は、寄贈、寄託、購入等による。

3 沿革

昭和56年9月 第2次高松市総合計画で、郷土資料の収集、 保存、活用を図るために、郷土資料館の 建設の検討が計画された。

昭和59年3月 学識経験者、文化団体関係者からなる高松市 文化振興会議で郷土資料館の建設の提案 がなされた。

昭和61年6月 史跡石清尾山古墳群整備基本計画策定計画 書に、石清尾山古墳群に関連する郷土資料館 建設が記載された。

昭和62年6月 高松市歴史民俗協会から、歴史民俗博物館 設立の要望があった。

> 10月 市制施行 100 周年記念事業計画会議から、 100 周年記念事業の基本構想および基本 計画のなかで、歴史民俗資料館建設の提言が あった。

12月 市制施行 100 周年記念事業基本構想・基本 計画で記念施設の一つとして、歴史民俗 資料館建設が決定された。

昭和63年2月 高松市図書館・歴史民俗資料館整備庁内 連絡会を設置した。

> 7月 高松市立歴史民俗資料館(仮称)建設検討 懇談会を設置した。

平成元年2月 高松市立歴史民俗資料館(仮称)建設検討 委員会から高松市歴史民俗資料館(仮称) 基本構想報告書が提出された。教育民生 調査会を開催した。

> 3月 高松市立歴史民俗資料館(仮称)建設基本 構想を策定した。

> 5月 高松市歴史民俗資料館 (仮称)展示基本構想 研究会を設置した。

6月 教育民生調査会を開催した。

平成元年9月 展示基本計画・基本設計を業務委託した。

平成2年3月 教育民生調査会を開催した。

7月 教育民生調査会を開催した。

9月 展示実施設計業務委託・映像資料設計業務 を委託した。 10月 起工式

平成3年7月 常設展示室等展示業務を委託した。

平成4年7月 建物工事が竣工した。高松市歴史資料館条

例を制定。正式名称を「高松市歴史資料館」

とした。

4月 事務局を開設した。

7月 教育民生調査会を開催した。

11月 3日(文化の日)に開館

平成 18年1月 近隣6町との合併により、新しく石の民俗

> 資料館、香南歷史民俗郷土館、讃岐国分寺 跡資料館を管轄し、その事務を担当する。

施設概要

名 称 高松市歴史資料館(中央図書館・菊池寛記念館と併設)

所 在 地 高松市昭和町一丁目 2 番 20 号

敷地面積 3,921 m²

建物構造 鉄筋コンクリート造・地下2階・地上4階建・ 塔屋

建築面積 2,492 ㎡

延床面積 11,330 ㎡

うち歴史資料館部分(4階) 1,925 m 共用部分(エントランスホール・機械室・階段・エレヘー・ター等)

3,544.93 m

各室一覧	① 常設展示室	
------	---------	--

503 m ② プレイミュージアム (学習室) 99 m^2

263 m ③ 特別展示室 115 m ④ 第1収蔵庫

⑤第2収蔵庫 93 m²

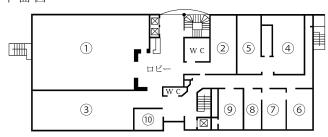
⑥ スタジオ 61 m²

⑦調查研究室 65 m²

(8) 資料室 48 m 9 事務室 65 m²

⑩ 展示備品室

平面図



工事関係 [監理] 高松市土木部建築課 覧 [設計管理] (株) 梓設計

[建設工事]大成・大林・鴻池・合田建設共同企業体 [給排水衛生設備工事] ナミレイ・サン技研建設共同企業体 [電気工事] 浅海・昭和・大よし共同企業体

[空気調和設備工事]高砂熱学工業・朝日工業社・雉鳥 工業共同企業体

[昇降機設備工事] 日本オーチスエレベータ [立体駐車場工事] 石川島播磨重工業

[展示業務] (株) 乃村工藝社

5 組織と業務

高松市歴史資料館は、高松市・高松市教育委員会が建設 し、管理運営を行っている。事務局は、同委員会文化部 歴史資料館におかれ、正規職員と非常勤嘱託職員から構成 されている。

資料館は、高松市歴史資料館条例および同施行規則に 基づいて活動しており、組織については、高松市歴史 資料館処務規定に基づいている。さらに、資料館の適正な 運営を図るため、高松市歴史資料館運営協議会を年1回 開催している。

資料の取扱いについては、高松市歴史資料館資料取扱い 要綱に基づいて、適切に対処している。さらに、重要な 資料の収集にあたっては高松市歴史資料館資料収集調査 委員会設置要綱に基づき、同委員会に諮問し、その答申に 沿って収集している。

■ 業務内容

- 常設展示の運営,管理
- 館内庶務及び予算事務
- 3 特別展の開催
- 教育学習に関する事業 4
- 5 資料収集、整理、保管
- 資料に関する調査研究と情報提供
- 7 資料に関する解説書、図録、目録、研究報告書等の刊行
- 資料の利用に関する助言、指導 8
- 運営協議会事務
- 10 他の資料館、関係機関、団体との協力
- 11 その他資料館が行う事業

■ 合併による文化施設編入について

平成 17 年度の市町合併により、下記の三館を高松市 歴史資料館が統括することになり、互いに協力し合って 新しい事業展開を図っている。

・石の民俗資料館

高松市牟礼町牟礼 1810 Tel.087-845-8484

五剣山南麓の「石匠の里公園」の中核施設であり、石 材産業の民俗資料を収集・展示する全国でも例のない 資料館。ジオラマ展示や体験学習広場を設けるなど楽 しみながら石と触れ合うことができる。また、各種の 特別展や講座も開催。

香南歷史民俗郷土館

高松市香南町由佐 253-1 Tel.087-879-0717

南北朝時代、足利尊氏に属して功績を挙げた由佐秀 助という武将がこの地を賜り、京都から讃岐に渡って 由佐城を築城した。この郷土館は、その居城跡に、城 の土塁といわれるものや古い屋敷の庭石、樹木の一部 を大切に活かして庭を造り、城をかたどって創られた 施設。

• 潜岐国分寺跡資料館

高松市国分寺町国分 2177-1 Tel.087-874-8840

国分寺跡保存整備事業の一環として建設された資料 館で、発掘調査で出土した瓦・土器・金属器などを展示。 映像学習室ではアニメーションを取り入れた讃岐国分 寺跡の歴史ビデオを放映。また、国分寺跡史跡公園には、 奈良唐招提寺と同規模の金堂、七重の塔など、天平文 化の粋を集めて造られた讃岐国分寺の伽藍配置模型 (%)を設置。

■ 名簿

高松市歴史資料館等協議会

(平成22年11月3日~平成24年11月2日)

学識経験者 佐藤恒雄 香川大学名誉教授

丹羽佑一 香川大学経済学部教授

関係団体役員 亀井健男 香川県小学校教育研究会

高松支部社会科部会役員

淀谷圭二 香川県中学校教育研究会

高松支部社会科部会役員

高松市歴史民俗協会事務局 役員

葛西優子 高松市 PTA 連絡協議会

副会長

その他 荒木ヨシ子 讃岐国分寺跡資料館

宮本康子

友の会役員

松下桂子 元香南歷史民俗郷土館

運営協議会委員

奥谷義明 文化協会むれ役員

公募 石川文彦

職員

22年度 館長 藤田正勝

業務係長 山本英之

主査 多田徳恵

管理係 赤澤美保

嘱託員 谷 真琴

河西由美子

中條亜希子

松本有貴

中山尚子

岩嶋孝典

6 関係法規

高松市歴史資料館条例

平成4年3月27日条例第19号

(設置)

第1条 本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識および教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、高松市歴史資料館(以下「資料館」という。)を高松市昭和町一丁目2番20号に設置する。

- 第2条 資料館は、前条に規定する資料館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
 - (1) 本市の歴史、考古、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管および展示を行うこと。
 - (2) 本市の歴史、考古、民俗等に関する調査研究を行うこと。
 - (3) 本市の歴史、考古、民俗等に関する展覧会、講演会等を開催すること。
 - (4) 本市の歴史、考古、民俗等に関する情報を提供すること。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、資料館の設置目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第3条 資料館の展示を観覧しようとする者は、別表に規定する観覧料を納付しなければならない。 (観覧料の返還)

第4条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)が特別の理由があると認める場合は、 返還することができる。

(観覧料の減免)

- 第5条 市長は、委員会において必要があると認める場合は、観覧料を減額し、または免除することができる。 (利用の制限)
- 第5条の2 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、または退館を命ずることができる。
 - (1) 秩序を乱し、もしくは公益を害し、またはそのおそれがあると認められる者
 - (2) 資料館が展示もしくは保管をしている資料または資料館の施設・設備等を損傷し、もしくは滅失し、またはそのおそれがあると認められる者
 - (3) その他資料館の管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第6条 資料館の入館者が、自己の責めに帰すべき理由により、資料または資料館の施設・設備等を損傷し、または 滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

(高松市歴史資料館等協議会への諮問)

- 第7条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野および美術分野 社会教育施設協議会条例(平成20年高松市条例第29号)に規定する高松市歴史資料館等協議会に諮問するものとする。 (職員)
- 第8条 資料館に館長その他必要な職員を置く。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この条例は、平成4年 11 月3日から施行する。ただし、第8条の規定は、規則で定める日から施行する。(平成4年高松市規則第15号により、同年4月1日から施行)

附 則 (平成 11 年 7 月 14 日条例第 19 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月27日条例第6号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成 20 年 3 月 26 日条例第 29 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月26日条例第7号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)		
区力	個人	団体(20人以上)	
一般	200円	160円	
大学生	150円	120円	

17

備考

- 1 「一般」とは 15 歳以上の者(大学生および備考 2 の規定の適用を受ける者を除く。)をいい、「大学生」とは学校 教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 2 就学年齢に達しない者または学校教育法第1条に規定する小学校、中学校もしくは高等学校に在学する者もしくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

高松市歷史資料館条例施行規則

平成4年3月27日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、高松市歴史資料館条例(平成4年高松市条例第 19 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な 事項を定めるものとする。

(開館時間)

- 第2条 高松市歴史資料館(以下「資料館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室および学習室への入室は、午後4時30分までとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。 (休館日)
- 第3条 資料館の休館日は、次のとおりとする。
 - (1) 月曜日(その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)
 - (2) 12月29日から翌年1月3日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、または開館することができる。 (観覧券の交付)
- 第4条 条例第3条の規定による観覧料の納付があったときは、観覧券(様式第1号)を交付する。 (観覧料の返還)
- 第5条 条例第4条ただし書に規定する観覧料を返還することができる場合は、天災地変その他観覧料を納付した者の責めによらない理由で観覧できなくなったときとする。
- 2 観覧料の返還を受けようとする者は、高松市歴史資料館観覧料返還申請書(様式第2号)を速やかに教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。

(観覧料の減免)

- 第6条 条例第5条に規定する委員会において観覧料の免除を必要と認める場合は、次のとおりとする。
 - (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する小学校、中学校、高等学校その他これらに準ずるものの 児童または生徒が教育課程に基づく教育活動の一環として展示を観覧する場合において、これらの者の引率者が展示を 観覧するとき。
 - (2) 65 歳以上の者で、長寿手帳(香川県が交付する手帳をいう。)、免許証その他の年齢を証する書面を所持するものが、展示を観覧するとき。
 - (3) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。
 - (4) 療育手帳制度要綱(昭和 48 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号厚生事務次官通知)に規定する療育手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。
 - (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。
- 2 前項第1号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ委員会に申請しなければならない。
- 3 第 1 項第 2 号から第 5 号までの規定により観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の際、職員に当該各号に掲げる手帳等を提示しなければならない。
- 4 第1項に規定するもののほか、観覧料の減免を必要と認める場合は、委員会が特別の理由があると認めるときとする。 (入館者の遵守事項)
- 第7条 資料館の入館者(以下「入館者」という。)は、次の事項を守らなければならない。
 - (1) 資料館が展示もしくは保管をしている本市の歴史、考古、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)に触れないこと。
 - (2) 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと。
 - (3) 所定の場所以外で飲食し、または喫煙しないこと。
 - (4) 火気を使用しないこと。
 - (5) 危険物または動物を持ち込まないこと。ただし、身体障害者が同伴する身体障害者補助犬については、この限りでない。

IV 管理運営

- (6) 物品等の販売または展示、びら等の配布その他これらに類する行為をしないこと。
- (7) 許可なく資料の撮影をしないこと。
- (8) その他資料館の職員の指示に従うこと。

(損傷等の届出)

第8条 入館者が、資料または資料館の施設・設備等を損傷し、または滅失したときは、高松市歴史資料館資料・施設・ 設備等損傷・滅失届(様式第3号)を直ちに委員会に提出しなければならない。 (季任)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、平成4年11月3日から施行する。

附 則(平成10年9月28日教委規則第3号)

この規則は、平成10年11月3日から施行する。

附 則(平成11年7月14日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月27日教委規則第3号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成 13 年 11 月 30 日教委規則第 10 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成14年9月27日教委規則第7号)

この規則は、平成14年10月1日から施行する。

附 則(平成17年7月28日教委規則第9号抄)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日教委規則第9号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月26日教委規則第7号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成 22 年 11 月 25 日教委規則第 14 号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

高松市歴史民俗分野および美術分野社会教育施設協議会条例

平成 20 年 3 月 26 日条例第 29 号

(設置)

第1条 歴史、民俗および美術に関する社会教育のための公の施設の運営に関し調査審議するため、教育委員会(以下「委員会」という。)に、歴史および民俗の分野ならびに美術の分野ごとに協議会を置く。

(名称)

第2条 前条の協議会(以下「協議会」と総称する。)の名称は、高松市歴史資料館等協議会(以下「歴史資料館等協議会」という。) および高松市美術館協議会(以下「美術館協議会」という。)とする。 (所営東西)

- 第3条 協議会は、それぞれ次に掲げる公の施設の運営に関し、委員会の諮問に応じて調査審議する。
 - (1) 歴史資料館等協議会高松市歴史資料館、高松市石の民俗資料館、高松市香南歴史民俗郷土館および高松市讃岐 国分寺跡資料館
 - (2) 美術館協議会 高松市美術館および高松市塩江美術館
- 2 美術館協議会は、高松市美術館に関しては、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条第1項に規定する博物館協議会とし、前項に規定するもののほか、同条第2項の規定により美術館協議会の権限に属させられた事項を処理する。この場合においては、前項中「委員会」とあるのは、「館長」とする。 (組織)
- 第4条 協議会は、歴史資料館等協議会にあっては委員 11 人以内、美術館協議会にあっては委員 15 人以内で組織する。
- 2 協議会の委員は、歴史資料館等協議会にあっては学識経験を有する者、関係団体の役員その他委員会が適当と認める 者のうちから、美術館協議会にあっては学識経験を有する者、学校教育および社会教育の関係者ならびに家庭教育の 向上に資する活動を行う者のうちから、委員会が委嘱する。
- 第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

- 第6条 協議会にそれぞれ会長および副会長1人を置く。
- 2 会長および副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。 (会議)
- 第7条 協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。
- 2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。 (幹事)
- 第8条 協議会にそれぞれ幹事若干人を置く。
- 2 幹事は、委員会の職員のうちから、委員会が任命する。
- 3 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 180 条の7の規定 により第3条第1項各号に掲げる公の施設の運営に 関する事務を市長の補助機関である職員に補助執行させる場合における前項の規定の適用については、同項中「委員会の 職員」とあるのは「市職員」と、「任命する」とあるのは「任命し、または委嘱する」とする。
- 4 幹事は、協議会に出席し、調査審議事項について意見を述べることができる。 (委任)
- 第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際、現に附則第5項の規定による改正前の高松市歴史資料館条例(平成4年高松市条例第19号)第7条の規定により委嘱された高松市歴史資料館運営協議会の委員である者ならびに現に附則第9項の規定による改正前の高松市美術館条例(昭和63年高松市条例第10号)第18条および博物館法第21条の規定により委嘱された高松市美術館協議会の委員である者は、この条例の施行の日に、第4条第2項の規定により、それぞれ歴史資料館等協議会の委員および美術館協議会の委員として委嘱されたものとみなす。
- 3 この条例の施行の日以後最初に委嘱される委員(前項の規定により歴史資料館等協議会または美術館協議会の委員に 委嘱されたものとみなされる者を含む。)の任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、歴史資料館等協議会の 委員にあっては平成20年11月2日まで、美術館協議会の委員にあっては平成21年6月30日までとする。

(高松市特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

4 高松市特別職の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 31 年高松市条例第 20 号)の一部を次のように改正する。 (次のよう略)

(高松市歴史資料館条例の一部改正)

5 高松市歴史資料館条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(高松市石の民俗資料館および石匠の里公園条例の一部改正)

6 高松市石の民俗資料館および石匠の里公園条例(平成 17 年高松市条例第 233 号)の一部を次のように改正する。 (次のよう略)

(高松市香南歴史民俗郷土館条例の一部改正)

7 高松市香南歴史民俗郷土館条例(平成17年高松市条例第234号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(高松市讃岐国分寺跡資料館条例の一部改正)

8 高松市讃岐国分寺跡資料館条例(平成 17 年高松市条例第 235 号)の一部を次のように改正する。 (次のよう略)

(高松市美術館条例の一部改正)

9 高松市美術館条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(高松市塩江美術館条例の一部改正)

10 高松市塩江美術館条例(平成 17 年高松市条例第 128 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成21年3月25日条例第7号)

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

IV 管理運営

7 統計資料

■ 特別展他観覧者数

展覧会名	有料 (人 一般) 大学生	無料(人) 一般	高校生以下	合計(人)	日数
収蔵品展 ここまでわかった高松城天守	264	10	547	116	937	38
第54回企画展 郷土・高松に伝えられた至宝	427	33	933	534	1,927	26
第 55 回企画展 ものがたりをよむ方法	203	13	839	396	1,451	38
収蔵品展 あそびのこころ	114	10	482	889	1,495	38
第 56 回企画展 左近さんが居た幕末	275	13	721	365	1,374	42
ロビー展等					12,247	308

■ 特別展等実績(各年度経過)

年度	展覧会名	開催日数 (日間)	観覧者総数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成4年	第1回特別展 開館記念 仏生山法然寺の名宝展	19	5,245	276
	第2回特別展 大地から見た高松の歴史	30	2,920	97
平成5年	第3回特別展 讃岐の文人画展	56	4,340	78
	第4回特別展 開館1周年記念 名刀が語る日本刀の歴史展	32	3,615	113
	第5回特別展 高松平野の考古学のあけぼの-小竹一郎旧蔵資料展	43	4,122	96
第	第6回特別展 写真が語る高松のあゆみ	56	3,063	55
	第7回特別展開館2周年記念描かれし美の世界-讃岐に関る画人・作品を中心に	43	3,798	88
	第8回特別展 鏡の美-讃岐出土・伝来の和鏡を中心として	50	3,493	70
第 10 回特	第9回特別展 讃岐一宮 田村神社の名宝展	54	4,068	75
	第 10 回特別展 開館 3 周年記念 北斎・広重から棟方志功まで一町田市立国際版画美術館所蔵品を中心に	38	3,852	101
	第 11 回特別展 讃岐の古瓦展-白鳳・天平の甍	50	3,140	63
平成8年	第 12 回特別展 高松市歴史資料館コレクション展ー美術・考古・民俗資料編	49	2,897	59
	第13回特別展 開館4周年記念 名刀展-鐡の匠	50	5,167	103
	第 14 回特別展 高松埋蔵文化財展	48	3,533	74
第	第 15 回特別展 全国郷土玩具展-樋口準一氏寄贈玩具を中心として	44	2,422	55
	第 16 回特別展 開館 5 周年記念 水戸徳川家の名宝展	25	4,109	164
	第 17 回特別展 馬の文化展ー讃岐を駆けぬけた馬たち	50	2,850	57
平成 10 年	第 18 回特別展 たかまつ香西のまつり	41	2,115	52
	第 19 回特別展 弘憲寺の名宝展	26	2,749	106
	第 20 回特別展 源平合戦図絵の世界	26	2,310	89
	第 21 回特別展 幻の宮伊勢斎宮-王朝の祈りと皇女たち	22	3,467	158
	第22回特別展 讃岐の古画にみる動物たち	40	1,189	30
	第 23 回特別展 野球王国・高松が生んだ宿命のライバルー水原茂と三原脩の野球人生	38	2,819	74
	館外展示 矢島で屋島展-生駒親正公の開いた高松と源平屋島合戦(矢島町郷土資料館)	22	1,708	78
	収蔵品展 古文書に見る人々の暮らし	38	1,210	32
平成 12 年	収蔵品展 栗田コレクション展	32	917	65
	第 24 回特別展 山田地区の文化財 – 川島・十河・東植田・西植田に伝えられた品々	38	2,288	60
	第25回特別展高松市市制施行110周年記念事業・文化財保護法50年記念 芦葉江と名刀展	38	2,465	65
	第 26 回特別展 高松市市制施行 111 周年記念事業 秋田県矢島町と生駒氏	38	2,288	60
平成 13 年	収蔵品展 拓本展	32	772	24
	第 27 回特別展 怪童・中西太展	38	1,421	37
	第 28 回特別展 讃岐の古瓦展-白鳳・天平の甍	44	2,338	53
	第 29 回特別展 高松市歴史資料館コレクション展一美術・考古・民俗資料編	38	1,238	33

年度	展覧会名		開催日数 (日間)	観覧者 総数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成 14 年	収蔵品展	弓の名手・那須与一展	38	1,040	27
	第 30 回特別展	メモリー [映画・映像の文化]	39	886	23
	第 31 回特別展	開館 10 周年記念 彦根藩主 井伊家の名宝 - 華麗なる大名道具の数々	30	2,225	74
	第 32 回特別展	林・三谷地区の文化財	32	1,654	52
平成 15 年	企画展	ある収集家のコレクション展	26	574	22
	共催展	高松自動車道全線開通記念埋蔵文化財展 讃岐横断 101km	30	1,118	37
	第 33 回特別展	ヒーローズ [昭和のイラスト・特撮の世界]	51	1,730	34
	第 34 回特別展	高松城と栗林園	32	1,893	59
	第 35 回特別展	歴史と現代の対話一広告・宣伝の文化史	44	1,560	35
平成 16 年	収蔵品展	殿様の書状	32	559	17
	第36回特別展	印刷メディアあれこれー近代の教育がみえる	38	650	17
	第37回特別展	仏生山・多肥地区の文化財	44	1,904	43
	第 38 回特別展	讃岐の文人・後藤漆谷の書跡とその周辺	38	788	21
平成 17 年	収蔵品展	コレクション大公開-歴史資料館の錦絵	32	994	31
	第 39 回特別展	名刀芦葉江と讃岐の刀	38	1,759	46
	第 40 回特別展	源義経と源平合戦	38	1,944	51
	第 41 回特別展	嵐徳三郎の世界	38	1,430	38
平成 18 年	収蔵品展	新たに仲間となりました	26	1,282	49
	第 42 回特別展	武士の装い	35	3,511	100
	第 43 回特別展	戦前の教育者群像	45	4,163	93
	収蔵品展	栗山とその周辺	34	1,026	30
	第 44 回特別展	ことばとかたちの歴史	38	1,566	41
平成 19 年	企画展	高松城跡天守台発掘速報展	38	782	21
	第 45 回特別展	渡辺コレクション展	38	2,018	53
	第 46 回特別展	万葉を愛した人物・中村一作展	38	788	20
	共催巡回展	発掘へんろー遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	27	880	33
	第 47 回特別展	布をめぐる旅ー込められた物語・歴史・表現	38	3,074	81
平成 20 年	収蔵品展	れきしに出会う一新収蔵品で知る人と風景	38	673	18
	第 48 回特別展	近代香川の人物譜ー菊池寛と同じ時代を生きた人々	38	1,725	46
	第 49 回特別展	人形の・夢・見ゆるひと	38	1,634	43
	第 50 回特別展	近代をつくった大工棟梁一高松の大工久保田家とその仕事	38	1,188	32
	共催巡回展	発掘へんろ一遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	26	620	24
	収蔵品展	長町竹石 文人画の世界	38	855	23
平成 21 年	収蔵品展	高松市内の遺跡発掘調査速報展一弥生土器に見るムラの暮らし	38	507	14
	第 51 回特別展	資料館がすいぞくかん!? 一造形にみる水のいきものたち	38	1,312	35
	企画展	旅する文人 細川林谷一その書画と篆刻	38	1,443	38
	第 52 回特別展	対決・協調 カップルズ	38	1,411	38
	第 53 回特別展	民具と生活、それぞれの四季	39	572	15
平成 22 年	収蔵品展	ここまでわかった高松城天守ー史料と発掘成果から往時の姿を探る一	38	937	25
	第 54 回企画展	郷土・高松に伝えられた至宝~高松市内の指定文化財~	26	1,927	75
	第 55 回企画展	ものがたりをよむ方法-伊勢・源氏・平家物語を楽しもう。-	38	1,451	39
	収蔵品展	あそびのこころ一昔おもちゃの魅力を知る一	38	1,495	40
	第 56 回企画展	左近さんが居た幕末一松平賴該とその周辺一	42	1,374	33

IV 管理運営

8 利用案内 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

□ 開館時間

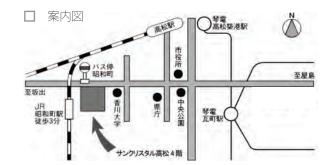
9:00~17:00(入館は16:30まで)

□ 休館日

月曜日(休日の場合は翌日) 年末・年始(12月29日~翌年1月3日)

□ 観覧料

一般 200円(160円) 大学生 150円(120円) 高校生以下は無料 ※()内は20人以上団体料金



■ 石の民俗資料館

高松市牟礼町牟礼1810 TEL:087-845-8484

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:月曜日(休日の場合は翌日)

観 覧 料:一般200円(160円) 大学生150円(120円)

高校生以下は無料

※()内は20人以上団体料金



■ 香南歴史民俗郷土館

高松市香南町由佐253番地1 TEL:087-879-0717

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日(休日の場合は翌日)

観覧料:無料



■ 讃岐国分寺跡資料館

高松市国分寺町国分2177番地1 TEL:087-874-8840

開館時間: 9:00~16:30

休館日:月曜日(休日の場合は翌日) 観覧料:大学生以上100円(80円)

高校生以下は無料

※()内は20人以上団体料金



高松市歴史資料館年報 平成22年度 No.13

発行 平成24年3月 高松市歴史資料館

〒760-0014 高松市昭和町一丁目2番20号 TEL 087(861)4520·FAX 087(837)9114

URL http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/643.html

